



チックシベツ

教育目標

たくましい身体の子
ねばり強く働く子ども
進んで学ぶ子ども
美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 8月号（平成30年8月24日）【発行責任者 校長 上杉 晃弘】

～ 二学期を迎えて ～

26日間の夏休みが終わり、二学期が始まりました。

20日（月）の始業日に子どもたちの元気な姿を見ることができ、「不審者・熱中症・交通事故に気をつけて夏休みを過ごして下さい。」と一学期の終業式で話したことをしっかり守ってくれたと思いました。また、自由研究などの作品も力が入っていて、充実した生活を送っていたこともうかがわれました。子どもたちに話を聞くと、「おじいちゃん・おばあちゃんの家に行ってきました。」「海に行ったのが楽しかったです。」等々、思い出を教えてくださいました。楽しく過ごせたこともよかったですと思います。

夏休みの間、とても心配になるニュースととても心温まるニュースがありました。それは、二歳の子どもの行方不明とボランティアに励まれている方が子どもを発見したことです。たった5分の間に親子が入れ違いとなり行方不明になったことから、学校として子どもたちの安全・安心を守る上で、あらためて「想定外を可能な限り無くす」ことの大切さを知らされました。また、ボランティアで子どもを発見された方は、西日本豪雨の災害に対応しながらも、行方不明の子どもを探しに来て、また災害対応に戻られました。この方のボランティア意識の高さには、誰もが頭の下がる思いになったのでは無いでしょうか。報道によれば「登山で親しんだ山への感謝から、ボランティアで痛んだ山の修復等をしたのが始まり」だそうです。また、「ボランティアで救出の現場に来る理由というのは、尾畠さんの生き方のどういうところにありますか？」というインタビューに「世の中に重たいものはいっぱいあると思いますけど、人の命よりも重いものはこの地球にはないと思っています。だから、年齢・性別関係なく、自分ができるだけのことはお手伝いさせてもらいたいな、と思い大分県から来たわけです。」と応えています。「命は何よりも重い」という言葉も、誰もが大きくうなずかされる場所ではないでしょうか。

二学期の始業式で、子どもたちには「夏休み中、不審者・熱中症・交通事故に、二学期も引き続き気をつけて下さい。命を守ることが一番大切です。」と話しました。学力・体力・心の成長のどれも、子どもたちが自分の夢を実現したり、自分の未来を切り拓いたりしていく上で大切ですが、全て命があつてのことです。

さて、二学期が始まりまだ一週間ですが、既に音楽室からは学芸会で発表する曲が流れ賑やかになってきました。子どもたちには自分自身の成長のために何が必要かをよく考え、目標を立ててその達成のために頑張りたいと思っています。

学校にとって二学期は一学期に築かれた基礎の上に、学力や体力、豊かな心を授業や行事を通してさらに積み上げていく期間です。保護者・地域の皆様にご協力をいただきながら、職員一丸となって、子どもたちを成長させていきます。二学期もよろしくお願いいたします。